

共生

奈良県生協連

2014年10月

NO.94

万葉のいぶきを求めて—(59)



コスモスと法起寺三重の塔

いかるが よるか
斑鳩の 因可の池の 宜しくも 君を言はねば 思ひそわがする

作者不詳

斑鳩という地名が万葉集に出てくる歌はこの一首だけという事ですが、因可の池の所在はわかりませんでした。「世間の人、あなたの事をよく言わないので、私は何かと物思いに耽っています」いつの時代も人の噂というものは、人の心を傷つけるものです。この静かな斑鳩の万葉の人々の間でさえ、人の噂やねたみ、中傷が渦巻いていたのでしょうか。そのために若い男女の心はおびえ、小さくなって人目を避けていたのでしょうか。

開発の進む前の斑鳩は、田のあぜ道を辿って行くと、たわわに実る柿の枝の向こうに、斑鳩の三塔と言われる法隆寺、法起寺、法輪寺の塔が突然姿を見せ、深い感動を覚えたものでした。今日では、ひっきりなしに通る観光バスの群れは、そんな万葉人の悩みをかき消しているかのようでした。そんな折、ふと目に入って来たのは、コスモスの花の向こうに立つ小さな法起寺の塔でした。ここには万葉人の雰囲気が息づいているようでした。

生協組合員理事交流会(奈良県南部の再生エネルギー施設見学会)開催

2014年9月2日(火)生協組合員理事交流会として、再生可能エネルギー利用地域の現場を知り、生協が取り組めることを探る目的で、再生可能エネルギー施設見学会を実施しました。ならコープ、コープ自然派奈良、生活クラブ生協、奈良県医療福祉生協の組合員理事と奈良県生協連事務局スタッフ・奈良県森林組合連合会(講師)計34名が参加しました。



吉野町三茶屋「エコ・え〜ね館」にて記念撮影

■ 行程(近鉄大和八木駅集合・解散)

●近鉄福神花吉野ガーデンヒルズ

メガソーラー発電所、EV車急速充電器見学

花吉野プラザにてEV車からの点灯実験、大淀町の施策説明、スマートハウス見学

●木質バイオマス発電所建設予定地(大淀町馬佐木材団地 車窓より)

株式会社I・T・O吉野工場(木材チップ工場)見学説明

奈良県森林組合連合会 木材センター(吉野町香東)見学説明

●吉野町三茶屋(エコ・え〜ね館) 地元食材の手作り昼食・手作り水車・ソバ畑見学、取り組み説明

近鉄福神花吉野ガーデンヒルズ



花吉野メガソーラー発電所、来年末完成予定の木質バイオマス発電所関連施設、吉野町小水力利用推進協議会の水車による町おこしの取り組みと、太陽光、バイオマス、小水力3種類の奈良県内での再生可能エネルギーの取り組みを見学させていただきました。

「新エネルギーをカタチとして現物を見ることができてよかった」「いろいろな人やモノや行政や企業、そこに生協がしっかりかわりながら将来を見据えてともに力を出し合っていたらと改めて思った」との感想が寄せられました。

木質バイオマス発電所関連施設



吉野町三茶屋(エコ・え〜ね館)



“豊かなくらし”ということがどういうことかあらためて考えさせられました。便利で容易ではあるけれど“豊かで”“楽しい”くらしといえるのか…と今の自分の毎日をふりかえる機会となりました。一方、技術でエネルギーの自給自足ができるいろいろな研究開発が進んでいることが実感されました。

医療・福祉のページ

健康チャレンジ2014

奈良県医療福祉生協と奈良県生協連および会員生協では奈良県で地域丸ごと健康づくり運動として、この秋、9月から11月の3か月「健康チャレンジ2014」に取り組むことになりました。健康で楽しい生活を続けたい、でも一人ではなかなか続かない健康づくりですが、家族、ご近所、お友達と一緒に取り組むことで、楽しく、励ましあって続けることが出来ます。「健康チャレンジ2014」ではチャレンジする方にあまり負担とならないよう、日常生活の中で気軽に取り組めることを目標として8つのチャレンジコースを設定しました。この中から自由に選んでチャレンジしていただきます。期間内なら何度でも参加してください。

4週間チャレンジが終わったら、それぞれの生協へお持ちいただくと奈良県医療福祉生協から健康づくりのためのアドバイスシートや健康づくりに役立つ情報と参加賞をお渡しさせていただきます。

さあ、この秋は家族で、みんなで健康づくりにチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

チャレンジコース

- ①すやすや快眠コース
- ②ウォーキングコース
- ③バランスよい食コース
- ④ドキドキ腹はらコース
- ⑤チャレンジ禁煙コース
- ⑥飲酒ほどほどコース
- ⑦きちんと歯みがきコース
- ⑧マイチャレンジコース

健康チャレンジ2014
チャレンジ期間：2014年9月～11月
取り組みガイド

コースを選ぶ！
8つのコースから選択、複数でもOK!

- ① すやすや快眠コース
- ② ウォーキングコース
- ③ バランスよい食コース
- ④ ドキドキ腹はらコース
- ⑤ チャレンジ禁煙コース
- ⑥ 飲酒ほどほどコース
- ⑦ きちんと歯みがきコース
- ⑧ マイチャレンジコース

スタート 進め!

チャレンジ スタート!

チャレンジできた日には、シートに○をつけましょう!

ゴール!! あいさつ!

4週間おつかれさまでした!
奈良県医療福祉生協からのアドバイスシートと参加賞をゲット!

シートの提出・お問い合わせ先

- 奈良県生協同組合連合会 電話：0742-34-3535
- 市民生活協同組合グループ 電話：0742-34-8735
- 生活協同組合コープ自然派奈良 電話：0742-93-4464
- 生活クラブ生活協同組合 電話：0742-58-5225
- 奈良県医療福祉生活協同組合 電話：0744-23-1170

期間：2014年9月～11月のうち4週間
・期間中も、期間中でもチャレンジできます。
・チャレンジ終了後は、お集めに訪ねる生協までご提出ください。

健康チャレンジ2014 チャレンジ達成できた日数

チャレンジ宣言

私は は コースにチャレンジします!!

チャレンジ1日目

月 日

奈良県生活協同組合連合会・奈良県医療福祉生活協同組合

「健康チャレンジ2014」シートは各生協でお配りしています。
詳しくは奈良県生活協同組合連合会までお問い合わせください。(TEL 0742-34-3535)

健康講座に行ってきました

奈良県医療福祉生協の生協ホールでは、ステップ体操や笑ヨガ、親子サロンと様々な活動、学習会が開かれています。

今回8月28日(木)知っているようで知らないシリーズ②『水分の摂り方』の学習会に参加しました。「日常は食事以外で、水分約1000mlを何度かに分けて取ってください。夏場は熱中症予防に水分補給を心掛けていますが、冬場も暖房時には水分が失われます。特にエアコンでの暖房を使用する際には加湿してください。また体を動かすことは大切で、全身を動かすラジオ体操は簡単にできる運動としてお勧めです。」と、みみなし診療所の看護師長・福田幸子さんのお話の後、家でも簡単に作れる経口保水液と市販品の経口保水液の飲み比べをさせて頂きました。

健康講座は随時開催されるとのこと、また参加したいと思います。



経口保水液レシピ

- *水 1ℓ
 - *砂糖 40g
 - *塩 3g
- お好みでレモン汁を入れてください。

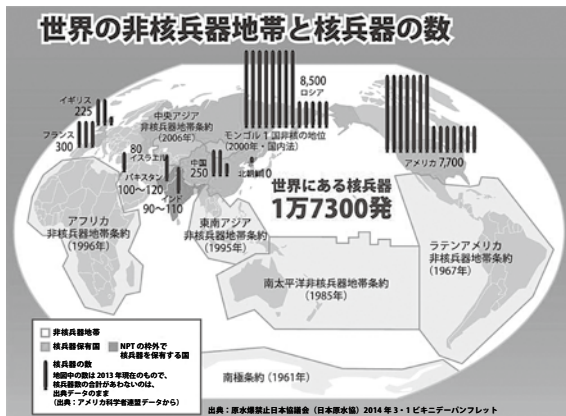
＝核兵器のない世界をめざして＝

2015年NPT(核不拡散条約)再検討会議にわたしたちの代表をおくります!

2015年4月にニューヨーク国連本部で開催されるNPT(核不拡散条約)再検討会議は、核兵器のない世界の実現に大きな鍵を握る重要な国際会議です。ここに日本から被爆者が被爆の実相と核廃絶への声を届けます。被爆者の方々の活動をサポートして会議を成功させ、核兵器廃絶への道筋を確かなものになりたいと願い、全国の生協とともに奈良県生協連ではわたしたちの代表をニューヨークに派遣します。

地球上にはまだ核弾頭が約 17000 発

たった1発でもひとたび使われてしまうと何十万もの命を奪い街を破壊する核兵器が、削減されたとはいえ世界にはまだ17000も残っています。



NPT (核不拡散条約) とは?

1970年に発効した、核兵器の拡散を防止するための国際条約。国連加盟国193か国中190か国が加盟。(インド、パキスタン、イスラエルが未加盟。03年北朝鮮が脱退)。アメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国の5か国を「核兵器国」と定め、軍縮を義務付け。一方でその他の国を「非核兵器国」と定め、核兵器の保有や開発を禁じています。

カギを握る 2015年NPT再検討会議の成功

再検討会議は、この条約がきちんと守られているかをチェックし、今後の取り組みを話し合うために、5年に一度開かれるもの。しかし、核軍縮はなかなか進まず、新たに核実験をする国もあり困難な状況も続いています。再検討会議が実りあるものになるよう日本でも世論を盛り上げることが必要です。

「核兵器禁止条約」の交渉開始を求める署名にご協力ください

2020年までの核兵器廃絶を目指して「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める要請書の署名を集めています。お寄せいただいた署名は2015年NPT再検討会議に合わせて国連に提出します。

お問い合わせは奈良県生協連 0742-34-3535まで



奈良県生協連から
村上 泰三さん
(奈良教育大学3回生)

私たち日本人が唯一の被曝国としてできることはただひとつ、諦めずに訴え続けていくことだと考えています。

私は今年の8月、PeaceNow!Hiroshimaに参加しました。その中で平和記念式典にも参加し、参加者の方々にインタビューも行いました。私が感じたのは、世界中見渡しても平和を望まない国民はいないということです。核抑止力という言葉がありますが、核兵器は使用してはならないものではなく、世の中にあってはならないものです。核兵器が一つでもある限り、人々が核兵器の恐ろしさから逃れられることはありません。NPT再検討会議では、被ばく者の生の声を聞ける最後の世代として、私が伝えられることはすべて伝えてくるつもりです。

行つてきます！
代表からのメッセージ



ならコープから
小比賀 博美さん
(ならコープ南エリア会
エリア委員)

2010年では、ならコープから3人が代表派遣されました。平和学習やピースコンサートなど、

私も学び、派遣を応援しました。帰国後の報告を聴き、平和への思いを新たにしました。あれから5年。来年のNPT再検討会議に向け、派遣される立場になってしまいました。

私は、特別な平和活動をしていません。NPTの理解もまだまだです。そんな私が選ばれたのは、普通の主婦、子を持つ母として、観て聴いて感じたことを、私と同じような普通の人たちに伝えるためだと思います。私なりに考え、私らしい平和活動を行い、ならコープ組合員の平和への思いを世界に届けます。応援、よろしくお願いします。

8月7日(木) 奈良女子大学

大学生協学生委員会企画 奈良セミナー2014

大学生協を学び、活動、そして地域について考えました

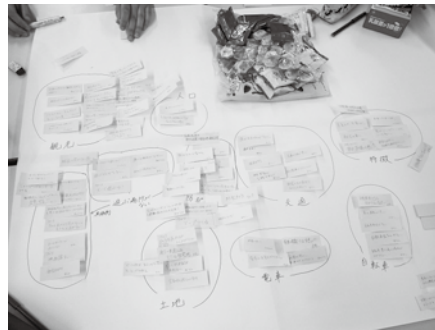


学生委員会活動の視野を広げようと、学生委員たちが実行委員会をつくってすすめる自主研修「奈良セミナー2014」が開催されました。8月7日、会場の奈良女子大学には、奈良教育大、奈良県立大学、奈良女子大学の3生協学生委員86人が集まり、朝10時から夕方5時まで、楽しくそして熱心に学び語り合い、連帯を深めました。

セミナーでは大学生協を学び活動について考えるとともに、今回はとくに自分たちの活動基盤となっている奈良という地域そのものを見つめる機会とし、大学の協力や大学の枠を超えた奈良を動かす活動にも目を向けていきました。

はじめの「生協の魅力を知る時間」では、「協同組合とは」から「大学生協・学生委員会」までをしっかりと学習しました。次の「奈良でできる学生委員会活動」の時間では「奈良クイズ」や奈良県生協連からの「県連のおはなし」コーナーの後、13班に分かれてグループ討論がありました。「仕事」「交通」「観光」「外食」「買い物」「電波」

など、一見これまで生協活動のテーマにはなかった様々なキーワードが抽出され、それぞれの課題が話し合われました。参加者は一日を通し、協力や連帯することでの可能性と広がりを感じ合いました。



プログラム

- ◆開会式
- ◆アイスブレイキング
- ◆生協の魅力を伝える時間
- ◆お昼
- ◆奈良でできる学生委員会活動
- ◆休憩
- ◆モチベーションアップの時間
- ◆回生別の時間
- ◆休憩
- ◆大学別の時間
- ◆閉会式

グループワークではこんなことが話題に



= 「奈良」の地域事情や意見(抜粋) =

■防犯

夜、道が暗い / 駅前の活気がない / 治安が悪いところをお互いしらせあう

■土地・交通

道が狭い / 坂が多い / 事故多い / 新幹線がない / 車の危険個所をまとめたハザードマップを作る

■観光・宿泊

宿泊客少ない / 外国人率の高さ / 英語で案内 or コミュニケーションが取れるセミナーを企画 / 英語以外にも充実 / 大学生協と地域購買生協が協力して奈良みやげをつくる / 観光MAP

家族でのびのびと奈良・関西を楽しんでいただきました 「福島の子ども保養プロジェクトinなら」

7月26日から29日「福島の子ども保養プロジェクトinなら」として、福島の子どもたちとご家族（11家族34名）を奈良県にお招きし、家族でのびのびと奈良・関西を楽しんでいただきました。

（主催：市民生活協同組合ならコープ、共催：福島の子ども保養プロジェクト、東大寺、近畿労働金庫、奈良ロイヤルホテル、株式会社黄金糖、社会福祉法人協同福祉会、奈良県生活協同組合連合会）

26日 福島～奈良 奈良ロイヤルホテルで
ウェルカムパーティ

27日 奈良公園（東大寺・鹿と遊ぶ♪・柱くぐり）、(株)黄金糖で工場見学と飴作り体験、金魚すくい・おこづかいゲーム、夕食交流会

28日 フリータイム

29日 「ならの思い出発表会」 奈良～福島



東大寺で

27日は、東大寺の大仏様の威容に圧倒され、奈良公園では鹿せんべいを片手にドキドキしながら鹿と触れ合いました。黄金糖では、多くの従業員の方に迎えていただき工場の見学と飴づくりを体験しました。また、ならコープ本部では、家族で金魚すくいに夢中になり、ゲームをみんなで楽しみながら交流しました。28日は、ご家族ごとに、思い思いに関西を楽しんでいただきました。清水寺や金閣寺、奈良町や薬師寺・唐招提寺、通天閣やたこ焼き、そしてUSJなどなど…。

29日は、「奈良の思い出発表会」として、3日間の思い出を語り合い交流しました。



奈良公園で鹿と触れ合っ



黄金糖で飴づくり体験



家族で金魚すくいに夢中

参加された方からは、「福島の子どもたち及び保護者にとって、心の復興といえますか、子どものストレスは、大変多いものと感じております。4日間のびのびと過ごすことができ、子どもも保護者も満足しております。」「関西・奈良に来れたことは、将来の大きな心の財産になるかと思えます。子どもが楽しみにしていた鹿とのふれあいは、鹿の圧倒的な勢いに驚きましたが、大人も子どもも我を忘れて楽しみました。」「ホテルでの皆様のお出迎えに感激しました。全国の皆様に支えられているのだと実感しました。線量の低い地で内容の濃い4日間を過ごせて、子どもたちも大満足でした。」「金魚すくいやクイズで盛り上がり親も真剣でした。子どもたちは毎日お留守番のお父さんに、興奮して楽しい楽しいと電話で言ってる姿が印象深かったです。」との感想を頂きました。

おじゃましました～奈良県労働者共済生協(全労済奈良県本部)の巻～

* 夏まつり 全員集合!

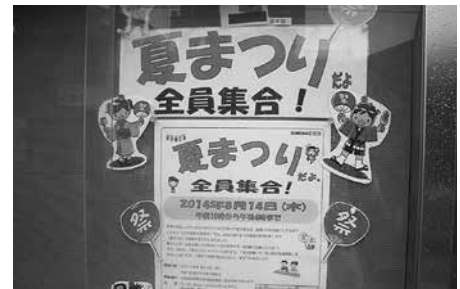
夏休み中の8月14日(木)奈良市内の奈良県労働者共済生協で、防災意識の向上や地域の方へ感謝の気持ちも込めて、昨年に引き続き、地域の子もたちに呼びかけて夏祭りが行われるとのことで、取材に出かけました。

4階の室内会場では、大和川水害パネルの展示、ヨーヨーやスーパーボールすくい、非常食の試食、子ども向けの防災クイズ、防災ビデオコーナー、新聞紙でつくるスリッパ工作コーナーや消防士さんに変身して写真撮影できるコーナーもありました。

屋外駐車場では11:00から奈良市消防局中央消防署の方のご協力で、消火器を使った消火訓練が行われました。



ちょうちんで夏まつりを演出。通りの掲示板上で近所をおさそいします。



(上) 憧れの消防士さんに変身!
(下) 非常食の試食 パンはしっかりといておいしい!



昭和57年8月大和川水害パネルの展示。最近の豪雨災害のこともあり、大水害の「記憶」を風化させることなく、後の世代に語り継ぎ、防災への意識を高めていきたいものですね。



このコーナーでは地震に対する防災の心構えをビデオで啓発。防災クイズもありました。



奈良市消防局中央消防署の方が、消火器の使い方を説明。子どもたちも大人も、水消火器を使って「火」の的に水を放水して消火訓練。「たった15秒しか消化粉末は出ないので、あわてないで的を絞って消火しましょう」とアドバイス。



この夏まつりは、地域の地藏盆などに合わせ自治会を通じてご案内をしたそうです。組合員さんの家族との接点を持てる機会ができ、奈良県労済生協(全労済)と地域との密着した活動だと担当された職員さんからお話ししていただきました。労済生協を知っていただき、防災の啓発になるイベントでした。

環境のページ

低炭素の地域づくり交流会議・奈良 第1回

日時：2014年8月28日(木) 場所：やまと会議室(奈良市)

主催：一般社団法人 地域未来エネルギー奈良(平成26年度地球環境基金助成事業) 協力：気候ネットワーク

ならコープ本部屋根で市民ファンドによる太陽光発電事業を展開している「一般社団法人地域未来エネルギー奈良」主催の低炭素の地域づくり交流会議・奈良(第1回)が開催されました。2012年度から実施してきた「低炭素の地域づくり戦略会議・奈良」を引き継いで今回で7回目の開催。行政(近畿農政局、県関係課、奈良市、橿原市、生駒市、斑鳩町)10名、奈良県生協連含む生協関係者7名、NPO26名、計43名が出席しました。

気候ネットワーク田浦氏より、IPCC第5次評価報告、国内の動向や京都市の市民協働発電事業について説明。県エネルギー政策課倉田課長補佐より県内の多様な再生可能エネルギーの普及拡大、省エネ・節電、緊急時のエネルギー対策の推進などの説明と事例紹介。県農村振興課下浦係長より農村資源活用の再生可能エネルギーについて、近畿農政局経営・事業支援部事業戦略課 大西課長補佐より農山漁村再生可能エネルギー法について説明があり、情報共有が行われました。「地域未来エネルギー奈良」と、同様な取り組みを生駒市で展開している「市民エネルギー生駒」からも市民出資型発電所の報告があり、自治体や生協などの報告の後、意見交換。奈良県生協連からは、日本生協連の新電力「地球クラブ」設立や生協の動向について報告しました。



低炭素の地域づくり交流会議のようす

「自然エネルギー学校・なら」

開講
されます

主催：地域未来エネルギー奈良
共催：奈良県生協連
会場：ならコープ本部会議室(奈良市)

【第1回】10/19(日)13～17時

●自然エネルギー導入の概要・動向を知ろう

(講師：和田武氏(元立命館大学教授)ほか)
再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)の概要、国内外の最新動向、市民主体の取り組み事例などを紹介。

【第2回】11/1(土)10～15時

●自然エネルギー導入の現場を見よう

※現地視察 太陽光発電、小水力発電など自然エネルギーの導入によって地域づくりを進めている取り組みを視察しその仕組みを学びます。

【第3回】11/29(土)13～17時

●自然エネルギー事業を考えよう

(講師：豊田陽介氏(気候ネットワーク)ほか)
自然エネルギー事業を進めるうえでの基礎知識(法規制、設置手順、資金回収シミュレーションなど)を学び、事業化を考えます。

電力事業交流会

主催：日本生協連

2014年8月5日(火)渋谷コーププラザにて、全国の生協など46名が集まり「電力事業交流会」が開催されました。日本生協連では、2012年「エネルギー政策の転換を目指して」、2013年「生協の電力事業研究会」報告書を発表し、再生可能エネルギーの普及や生協としての電力事業への取り組みを呼びかけてきました。

一方、国会では「電力事業法」改正案が可決され、2016年からの電力小売自由化が決まりました。電力システム改革の現状と再生可能エネルギー普及のための課題について共有し、電力事業の取り組みなどをすすめている生協の事例を学ぶ場となりました。市民・地域とともにすすめる事例として、屋根を貸したならコープと市民ファンドで太陽光発電事業を行う「地域未来エネルギー奈良」が共同で事例報告されました。

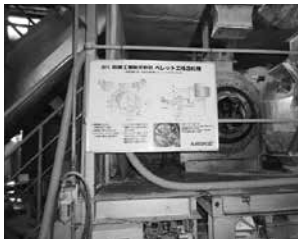
問合せ：0742-34-8566
地域未来エネルギー奈良

森林資源の有効活用で地域コミュニティ再生をめざす バイオスタウン真庭(岡山県)に行ってきました

岡山県真庭市では豊かな森林資源を活用し木質バイオマス発電や熱利用をすすめています。2006年、国のバイオスタウン認定を受け、産・官・学一体となった資源循環型のまちづくりに注目と期待が寄せられています。その取り組みを観光ともつなぎながらわかりやすく紹介する「バイオマスツアー真庭」に7月9日奈良県生協連から3名参加し、「未来エネルギーと地域づくり」について学んできました。

◆真庭市の概要

岡山県北部の人口約5万人の都市。森林面積が8割を占め40歳以下の林業従事者も多く、原木市場や製材所などが地域内に集まっています。



固形燃料・ペレットの製造



端材や未利用材の集積基地



真庭市役所の正面玄関

◆バイオスタウン真庭

森林未利用材や廃材などの木質バイオマスは再生可能でCO₂を増加させないため、その有効活用は環境に優れた循環型社会の実現につながります。副産物をまた別の事業で利用するなど、産業の循環をつくります。農業、林業、工業、商業、教育、福祉、技や文化…人間の生活のすべてが、バイオマス事業という持続可能な産業の輪の中でつながる地域を真庭市は目指しています。

◆ペレット製造とバイオマス発電

地元の製材所、銘建工業(株)では、おがくずなどの製造廃材や未利用材を粉碎・圧縮成型し固形燃料ペレットを製造。ペレットはストーブやボイラーの熱源として国内でも普及が広がりがつつあり、ここでは年に17000トン製造しています。またこの工場には約2000kWのバイオマス発電プラントがあり、その燃料にも活用されています。

◆バイオマス集積基地

未利用材や製材所で派生する端材、樹皮を集積し、また原料や燃料として加工もしています。地域の関連企業の連携で資源の安定供給が実現しています。

◆真庭バイオマス発電所の建設

真庭バイオマス発電株式会社を2013年9団体で設立し、集積基地の隣接地に発電所を建設、2015年4月に稼働を予定しています。発電量は年間1万kWで2万2千世帯の電力使用量をまかなえます。

◆真庭市役所

本庁舎玄関前通路「真庭回廊」の柱などにふんだんに地元ヒノキ材を使用。木質ペレット、チップの専用ボイラー2機を備え、庁内で100%バイオマスエネルギーを利用しています。屋上には出力80kWの太陽光発電パネルも設置。また駐車場には、電気自動車の急速充電器を設置し市民や観光客に無料で使用してもらい環境意識向上を図っています。

バイオマスツアー 行程

■木材ふれあい会館で
真庭市バイオマス政
策課から全体の概要
説明



■城下町・勝山町の町並
み散策と昼食



■銘建工業本社工場で
固形燃料・ペレット製
造とバイオマス発電プ
ラントを見学



■バイオマス集積基地
(真庭木材事業協同
組合)の見学



■真庭市役所で公共施
設における新エネル
ギー導入の視察

予告 第25回生協大会

地域共生社会を求めて PART2

～森・水・エネルギー・人のきずな～

☆日 時 2015年2月7日(土) 14:00~16:30(予定)

☆会 場 奈良商工会議所5階大ホール

☆定 員 150人 参加費無料

☆講 演 真庭市のバイオマスタウンの取り組みについて(講師:太田 昇 真庭市長)

このほか、奈良県でのバイオマス取組報告や会員生協の地域づくり報告も予定しています。

新しい地域支援事業について訪問活動をスタート!

8月12日 奈良県健康福祉部と懇談



奈良県生協連と県内で福祉・医療関連事業や活動を展開しているならコープ、奈良県医療福祉生協、社会福祉法人協同福祉会は、2015年介護保険制度改革により取り組みが本格化する新しい地域支援事業について行政訪問活動をすすめています。

8月12日、代表6名が、奈良県健康福祉部を訪問し、お話をうかがいました。対応いただいたのは、江南政治健康福祉部長及び林法夫地域福祉課長はじめ4名の皆様。

生協と協同福祉会からは、生協関連グループとしての事業展開の現状と、生活支援につながる地域資源や活動について紹介し、人のつながりを大切にした地域包括ケアシステムの実現に

役立っていききたいことを伝えました。

県からは、7月に出された「介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン案」に沿って、各市町村の中で取り組んでいけるようしっかりバックアップしていききたい考えを話されました。これまで以上の多角的な連携が必要となるので生協の事業や多数の組合員の力は大きいと思うと期待を述べられました。また安心して暮らせる地域にするため認知症高齢者の増加への対応や医療と介護の連携なども話題になり、有意義な意見交換となりました。

今後はどこに住んでいても安心して老いて暮らせる地域社会の実現に向け、県内の各市町村介護福祉担当課を訪問して意見交換をしていく予定です。

憲法学習会を開催

9月6日(土) 奈良商工会議所

今こそ憲法について学ぼう!

～憲法解釈の変更による集団的自衛権の行使容認ってどういう意味?～

奈良弁護士会の宮尾耕二弁護士による憲法学習会「今こそ憲法について学ぼう!～憲法解釈の変更による集団的自衛権の行使容認ってどういう意味?～」が9月6日午後、ならコープ主催、ならコープ平和の会、奈良県生協連共催で開催されました。会場の奈良商工会議所には71人の参加者が集まり、熱心に講義に耳を傾けました。

はじめに平和の会の皆さんによる憲法〇×クイズがあり、「憲法に書かれているルールを守らないといけなのは国民?」(正解は×)など3つの質問があり、参加者ほぼ全員が正解しました。

宮尾先生は、国際法のなかでの集団的自衛権の意味や湾岸戦争以来の戦争などについて解説し、集団的自衛権行使容認の閣議決定について分析されました。そして「憲法は強大な国家権力を縛るためにあるもの」「84%の人が閣議決定は何かおかしいと思っている。国民がその声を上げていくことが大事」と話されました。日本国憲法の存在意義を再確認する機会となり、参加者からは「わかりやすい内容で頭の整理ができた」「無関心な人たちに関心を持ってもらうことが大切」「これからどのような議論になっていくか見極めたい」などの感想が寄せられました。



2014年9月5日

3.11を忘れない。。

みやぎ生協から被災地・宮城のいまをお伝えします

いまでも震災前の水準から遠く

「復興なんてまだまだ先」「売上げが震災前の5割程度という企業もまだいっぱいあるよ」。宮城の水産加工業者の多くは、震災によるダメージからいまでも十分に回復できていません。水産庁の調査（※）では、宮城県で生産能力が被災前の水準に戻った事業者は13%、売上げではたった8%しかありませんでした。

復興をはばむ主な要因は、販路喪失、風評被害、人手不足です。

震災で宮城の水産加工品の生産は一時ストップしました。代わりにスーパーの棚を埋めたのは他産地の商品で、生産が再開されてもそれは続きました。さらに放射能の風評問題が水産加工業を直撃しました。

「震災前より、販路が狭くなった」。塩蔵わかめなどを製造する（株）志田金は、関東以南のスーパーとの取引が震災後大幅に減少しました。いち早く工場を再開したにも関わらず風評で売れない状況が続き、その間に従来の取引先では他産地のわかめへの切り替えが定着してしまったためです。代表取締役の志田金治郎さんは「風評被害がなければ、宮城の水産加工業はもっと早く売上げを回復できていたはず」と言います。

漬け魚などを製造する三波食品（株）の専務取締役・松本晴幸さんも「関東は売上げが伸びているが、西日本は風評のせいで、そもそも店に置いてもらえない」と話します。

人手不足も深刻です。「募集をかけても人が集まらない。高卒者もパートも、みんな給与の高い建設土木などに行く。中国やベトナムなどの労働力に頼らざるを得ない」と松本さんは思うようにいかない現実を口にします。

施設の復旧は進んでも販路や風評、人手不足の問題が解決されなければ復興とは言えない。そんな思いが「復興はまだ先」の言葉には込められているのです。

※「水産加工業者における東日本大震災からの復興状況アンケート調査」（2014年4月16日、水産庁）

情報提供／みやぎ生協



志田金の塩蔵わかめ生産工程



2014年6月に新工場が完成した三波食品

広島市はじめ全国各地で、局地的豪雨による土砂災害や水害などにより、一瞬にして、尊い生命や家屋などの貴重な財産を奪うなど、甚大な被害をもたらしました。被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、尊い命を落とされた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。そして被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

県連日誌

7月

- 4日 奈良県協同組合デーのつどい
- 9日 真庭市バイオマスタウン見学ツアー
- 11日 なんゆう祭開催協議会
- 11日 関西消費者連絡懇談会
- 12日 近畿地区生協府県連協議会
- 15日 県連活動推進会議
- 16日 介護保険制度改定に向けた行政訪問活動ワーキングチーム会議
- 17日 なら消費者ねっと運営委員会
- 22日 関西地連運営委員会
- 24日 福島の子ども保養プロジェクト
- 26～29日 吉野共生PJ推進委員会
- 28日 奈良県労済生協総代会
- 31日 奈良県協同組合連合会

8月

- 1日 奈良県環境審議会
- 5日 日本生協連「電力事業交流会」
- 7日 大学生協奈良セミナー
- 12日 県健康福祉部訪問
- 19日 奈良地区大学生協部会
- 19日 ピースアクションをすすめる会
- 20日 関西電力経営説明会:関消懇
- 23日 福知山市豪雨災害被災地ボランティア
- 25日 吉野共生PJ推進委員会
- 25日 なら消費者ねっと運営委員会
- 29日 低炭素の地域づくり交流会 議・奈良

9月

- 2日 生協組合員理事交流会(再生エネルギー施設見学会)
- 4日 奈良県生協連理事会
- 4日 奈良県生協連会員生協理事長交流会
- 6日 憲法学習会
- 9日 なんゆう祭開催協議会
- 22日 吉野共生PJ推進委員会
- 23日 ピースアクションをすすめる会
- 26日 なら消費者ねっと運営委員会

奈良県生協連第3回理事会報告

9月4日 奈良ロイヤルホテル

【主な審議事項】

- (1) 2014年度上期活動のまとめと下期の課題
- (2) 第25回奈良県生協大会開催にする件(第1次)
- (3) 2015年NP T再検討会議に向けての取り組みの件

(4) その他事項の件

- ① 「健康チャレンジ運動」について
- ② 2014年度食の安全懇談会について
- ③ 奈良県への2015年度にむけての要望書
- ④ 「平成26年8月豪雨」被災地支援の取り組みについて
- ⑤ 「なんゆう祭2014」への参加について

編集後記

3月に母が亡くなってから、東京の父のところと奈良との往復が多くなりました。東京の実家の周辺と奈良の我が家の暮らし方やエネルギーの使い方に変化が生まれています。東京は確かに便利で住み良いのかもしれませんが、いろいろなことで違和感を持つてしまうのは、私はすっかり「奈良の人」。

(順)

盲導犬の繁殖犬だったご近所のわんちゃんがい長い引退生活の末に息を引き取りました。人間に役立つ犬に育てるためには小さい時からボランティアによる家庭教育や訓練が必要で、そして年老いて「お仕事」を引退してからはその犬を介護するボランティアも必要なのです。人に尽くした小さな命に感謝するとともに、社会福祉がさまざまな無償の活動で支えられ繋がれていることを知りました。

(由)

8月のスーパームーンは台風でしたが9月8日の中秋の名月はとてもきれいでした。月に人が降り立っても、神秘的なエネルギーを感じるのには私だけかな。

(佳)

奈良県南部地域の再生可能エネルギー(太陽光・木質バイオマス・小水力)施設の見学会を初めて実施しました。早く真庭市のように地域の活性化につながることを願って。

(和)